



高尾山山頂より富士山

東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No.173

2024年1月
(2024年1月9日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



2023年5月日比谷メーデー

2024年

○顧問	○顧問	○会計監査	○会計監査	○幹事	○幹事	○幹事	○幹事	○幹事	○事務局長	○副会長	○副会長	○会長
庄司隆男	北條信治	小林守	穂戸田功	瀬田朗	箱田修一	押田五郎	山岸治美	岩渕勝美	戸枝章	岡澤徹	佐藤晋一	丹野富士雄

これらの課題を実現させていきたいと思っています。

- 脱原発、核廃絶と基地撤去
- 改憲発議阻止・岸田内閣退陣
- 「現・退一致」の取組みで、
- 人権尊重、全ての差別撤廃
- 東京清掃の闘い前進
- 非正規差別の撤廃
- 年金・医療・介護制度改善
- 退職者会の会員倍増

ら、労働者の権利拡充と会員増大へ弾みがつきそう。



今年の夢

今年の干支は「辰」。
「辰巳上がり」、何やら

自民党政治を終らせよう 退職者運動の強化を

東京清掃労働組合退職者会

会長 丹野 富士雄



会員ならびにご家族の皆さま、明けましておめでとうございます。

世界はロシアによるウクライナ侵略戦争に続いて、昨年10月に開始されたイスラエルによるパレスチナ・ガザ大虐殺が連日行われています。日本政府は「台湾有事」を理由

にして西南諸島を「軍事基地」化し、侵略戦争が可能な軍事力の整備へ向けて、47兆円の防衛費増額等を計ろうとしています。このまま、「戦争する国」への暴走を許すか否か、今年は重要な節目の年になるとみられます。一方、安倍重流の岸田政権

下、安倍派による派閥パーティー収入の議員へのキックバックが発覚しました。岸田政権は有効な対策を講じられず、安倍政治の崩壊が始まろうとしています。

私たちが目指す護憲・民主主義の前進へ向けて、退職者会はこれまでも、国会前集会や諸行動に積極的に参加してきました。今こそ、自民党政治を終らせるための行動が強く求められます。

私は昨年、病いのために、春の小金井公園お花見以降の

平和の大切さを次世代へ伝え 「平和を守る」行動へ

東京清掃労働組合

中央執行委員長 多田 修一郎



新年あけましておめでとうございます。日頃より退職者会の皆さんには、東京清掃の取り組みにご理解、ご協力を頂いていることに心より感謝を申し上げます。年頭に際し、ひと言でご挨拶申し上げます。ロシアとウクライナにおける戦闘に終息が見えぬまま、

イスラエルとイスラム組織ハマスとの間にも戦闘がおこり、連日多くの一般人が犠牲となつていきます。中でも子ども犠牲者の数が日に日に増えていくことに憤りを感じます。こうした中、岸田政権は、安保三文書を閣議決定で書き換え、敵基地攻撃能力を保持

し、防衛費も増大するとなっています。また、被爆地で行われた広島サミットでは、被爆者やそのご家族の期待を裏切り、核抑止の必要性を主張しました。「核による威嚇」と「核抑止」その中身は同じなのではないかと思っています。東京清掃として、平和の大切さを次世代へ伝えていくことは、今やらなくてはならない重要な使命と感じています。「平和を願う気持ち」を「平和を守る行動」へとつなげていかなければなりません。

諸行動・行事に参画できなくなりしました。幸い癌は消滅してきましたが、体力が外出できる状況になく、皆様には大変ご迷惑をおかけしています。退職者会としては、退職者・高齢者の課題をはじめとする社会的運動を「現・退一致」の立場で進めるとともに、会員の皆さんのニーズにそくした行事を取組みますので、一層のご協力をお願いします。今年は、皆様にとつてもよい年になりますことを祈念してご挨拶とします。

また、本年4月をもって、区移管以降ようやく全ての区・一組で新規採用を迎えることとなりました。

今年も東京清掃は、組合員の生活と権利を守り、清掃事業の再直営化の取り組み、裏金まみれの自民党政権打倒に向け取組んでまいります。

最後に、退職者会の皆様とご家族にとつて実り多い一年となることを祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

**参加者
募集中****2月に
参加募集****1・27****2・13****3・11****3月下旬****「新春の集い」****「演劇鑑賞会」****「学習交流会」****「お花見ウォーク」**

今年の前半（6月まで）の
主な行事は6つです。

1月27日の「新春の集い」と2月13日の「演劇鑑賞会」は参加者募集中です。

「演劇鑑賞会」は、従来行っていた「落語鑑賞」が『国立演芸場』の建替えで行えなくなったため、趣向を新たに開催することにしたものです。

3月11日の「学習交流会」、6月14日の「第16回定期総会」は、コロナにより4年間途絶えていた「懇親会」付きです。大いに楽しみましょう。

1月27日「新春の集い」

■日時 1月27日（土）
11時45分開始

■会場 飯田橋「楼蘭」

■会費 2500円

会場を久しぶりに「楼蘭」

へ移しました。例年好評の長寿・喜寿お祝いや、開運ジャンケン大会など「お楽しみ会」も行います。

**2月13日「演劇鑑賞会」開催**

2024年 2月公演

劇団舞姫

2月1日（木）
2月27日（火）夜の部まで

浅草木馬館

2024年 2月公演

劇団舞姫

2月1日（木）
2月27日（火）夜の部まで

浅草木馬館

2024年 2月公演

劇団舞姫

2月1日（木）
2月27日（火）夜の部まで

浅草木馬館

■日時 2月13日（火）

■場所 浅草木馬館

■公演 劇団・舞姫

■昼の部（12時～15時30分）

■参加費 1000円

※留意点 予約が取れないことを考慮し、2月22日（金）を予備日に設定。

※観劇後、近くの居酒屋で交流会（「打上げ代」は会費と別途・自己負担）

3月11日「学習交流会」

■日時 3月11日（月）
13時15分開始

■会場 清掃会館地下ホール

■テーマ 頻尿と生活習慣病、健康で長生きするために

■講師 平野敏夫さん
（東京清掃顧問医）

■交流会 15時頃から
会費500円

3月下旬「お花見の会」

■開催日 3月下旬

■場所 江戸期に娯楽の場として設置された花見名所『飛鳥山公園』

■コース 10時頃、王子駅集合、飛鳥山で花見と博物館見学の予定

◆打上げ 王子駅周辺でランチ宴会を予定（場所等検討中）

フィールドワーク

〈開催日〉

4月下旬か5月中旬
〈コース〉 北斎美術館へ

今年も「近況報告」発行

今年も、皆さまの近況をまとめた『会員の近況2024』を発行します。日常のできごとや健康、趣味、現在関わっている運動、社会に関すること、今考えていることや興味をお持ちのことなど、何でも結構です。また、詩歌や写真など得意な文芸ものもお寄せいただきたいと思います。



締切は2月9日、『報告集』発行は3月初めです。みなさんの投稿をお待ちしています。

東京都慰霊堂へ相撲博物館などをめぐると定（現在検討中）
※打上げは「ちゃんこ」といきたいところですが、問題は会費が高くなってしまうこと、思案中です。

**第16回定期総会は6・14**

〈開催日〉 6月14日（金）
10時15分開会

〈会場〉 清掃会館地下ホール

〈出欠〉 5月に案内送付

〈懇親会〉 今年はやりませう。（会費千円程度）

介護保険料、所得420万円以上は引上げ

介護保険料は、65歳以上の高齢者（第1号被保険者）と40歳から64歳までの現役世代（第2号被保険者）が納付対象です。65歳以上の高齢者の保険料は、国が示す「基準」を参考に市町村が決めることになっています。現在の「基準」は所得に応じた9段階で、最も高い区分は年間合計所得「320万円以上」です。

保険料の応能負担強化

介護保険制度は3年ごとに見直すことになっています。

現役世代が減少し高齢者が増加する中で、介護保険制度維持のためには高齢世代の負担増が必要だとして、65歳以上の高齢者の保険料負担増と、介護サービス利用料の負担率引上げを検討してきた厚労省は、12月22日に開かれた『社会保障審議会介護保険部会』に、次の改訂案を示しました。

(1) 年間合計所得が420万円以上の所得者の保険料負担率引き上げ：現在最も高い区分の年間合計所得「320万円以上」

に「420万円以上」「520万円以上」「620万円以上」「720万円以上」の新区分4段階を上乗せして計13段階とする。

(2) 住民税非課税世帯などの低所得者（第1段階～第3段階）の負担率を引き下げる。

これにより、保険料段階での応能負担が強まります。

4月から145万人の保険料増

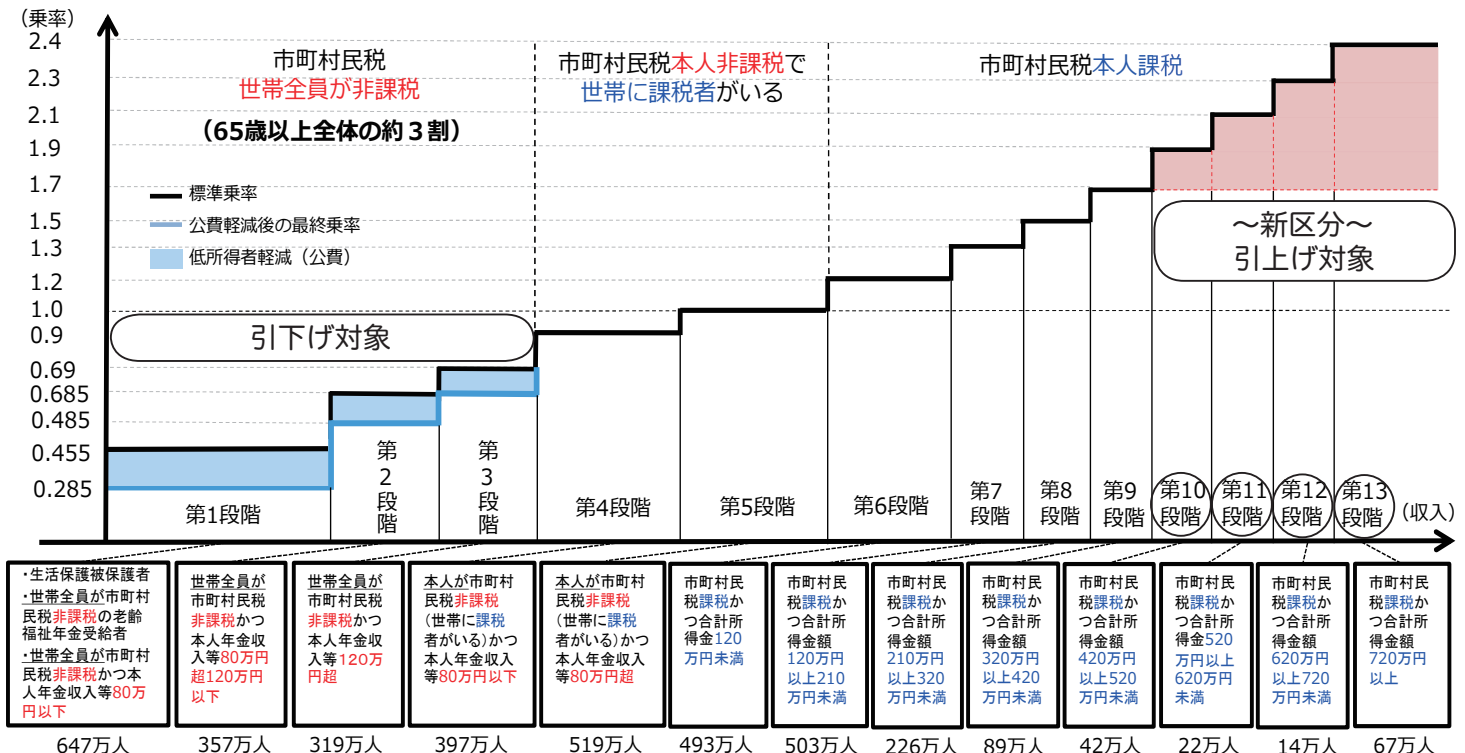
このとおり決まれば、4月から約145万人の方が保険料引上げになります。会員の中にも影響を受ける方がいると思いますが、保険料は市町村ごとに異なりますので、市町村の動きを注視してください。

利用料の負担増見送り

一方、介護サービス利用料の負担率は、「原則」1割、年間合計所得280万～340万円未満Ⅱ2割、年間合計所得340万円以上Ⅲ3割です。厚労省は、「2割枠拡大」の方向で検討していましたが、見送りとし、次回3年後の制度見直しの中で検討することになりました。

【参考】第9期計画期間における第1号保険料（標準13段階）

○今回の見直しを踏まえた、第9期計画期間における、標準段階、標準乗率、公費軽減割合、基準所得金額等は以下のとおり。



※被保険者数は、令和5年度厚生労働省老健局介護保険計画課調べ（令和5年4月1日現在の状況により報告）

イスラエルはパレスチナ・ガザでのジェノサイドをやめ即時停戦しろ！

イスラエルによるパレスチナ・ガザ虐殺開始から3ヶ月、パレスチナ人の死亡者は2万2千人を超えました。『戦時国際法』違反のイスラエルは、ただちに戦争を停止すべきです。12月にこの問題に触れた二つの講演に接しました。

一つは、『壊憲NO！96条改悪反対連絡会議』が12月12日に開催した『イスラエルによ

るパレスチナ・ガザへのジェノサイドを許すな！緊急集会』の加藤晋介弁護士『パレスチナ・ガザ地区の歴史的過程と現状』、もう一つは、旧総評提携文化人団体を継承する『市民文化フォーラム』が16日に行った講演会『国際紛争と市民』、中東政治が専門の千葉大教授酒井啓子さんの講演です。それぞれの講演の核心と思われる部分を報告します。

ナショナリズムが元凶

加藤晋介さんの講演は、兄弟宗教ユダヤ・キリスト・イスラム教の関係、先進社会イスラム教圏と後進社会キリスト教圏を逆転させた産業革命と市民革命、オスマン帝国解体と植民地化、2千年に亘るユダヤ人迫害、近代ナショナリズムとシオニズム（母なるカナンにわが祖国を）、ナチスによるホロコーストが西欧社会に与えた衝撃などを背景に、イスラエルがパレスチナ人の

土地を収奪し建設した経緯にふれ、パレスチナ問題はユダヤとアラブのナショナリズム同士の激突であり、双方とも、相手が消え去るまで闘い続ける構造なので解決は簡単ではないと説明。「ナショナリズムは本当に恐ろしい」という講師の言葉が印象的でした。

世界の非リベラル化警戒

酒井啓子さんの講演は、47

パレスチナ／イスラエルのアラブ人

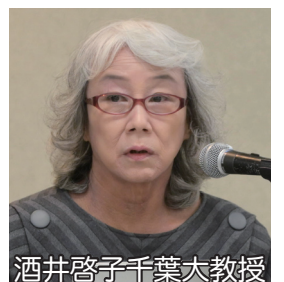
左から時代を追って、赤がアラブ人(パレスチナ人)が居住する地域、水色がユダヤ人



年の『国連分割案（ユダヤ人とアラブ人地域住み分け）』以降の中東戦争、インティファダ（民衆蜂起）から現在までの情勢を説明。イスラエルは抵抗の強いガザ地区の占領をあきらめ、完全包囲により追詰める戦略、ガザは「天井のない牢獄」状態。イスラエルの目的はハマスの殲滅、ガザを完全支配すれば、パレスチナ全土はイスラエルのものになる。既に別図のように、パレスチナ人の土地はほとんどない。

ハマスは消去法的に「イスラエルから守ってくれる」存在として支持されており、ハマスが解体されてもハマスに替わる運動体ができる。

イスラエル極右は「旧約聖書に則ったナイルからユーフラテスまで支配」の野望をもっている。今回の紛争で心配なのは、反ユダヤ、反イスラムを契機にした世界の非リベラル化だ、世界の状況を悪化させない取組みが大事になる。



酒井啓子千葉大教授

JALは解雇争議を解決しろ！

「JAL赤坂社長は機内誌に『正月の行事をあたりまえにようにこなす』と書いているが、大晦日の12月31日に解雇された私たちは13年間穏やかな正月を迎えたことなどない」：被解雇当該が決意表明の冒頭で語った言葉は、JALが人間性を無視して解雇した異常さを象徴しています。

JAL解雇は不当！

JAL解雇の不当性は、削



減計画を735名も超過した、所謂「血の入換え」を狙ったものであり、労組員165名の解雇は「モノを言う労働者切り」だったこと、国会議員要請で自民党石破議員は「これは組合潰しの不当労働行為、国際労働基準に反している」と指摘しています。さらに、1年後の業績回復以降、パイロット630名、客室乗務員7千人近くを採用したのに、被解雇者を1人も雇用していないこと、4回も出された「整理解雇した人の優先的再雇用」を求め、ILO『日本航空整理解雇問題に関する勧告』を無視し続けていることです。

支援の輪を拡げよう

寒風吹く12月22日、解雇争議解決を求めて天王洲アイルのJAL本社大包围行動が行われました。全国で支援の輪が広がっていることが明らかになりました。争議当該は「解決するまで闘い抜く」決意を示しました。東京清掃からも多くの仲間が駆けつけました。

パレスチナに平和を!! 改憲発議を許すな!! 武器輸出解禁反対!!

23年最後の19日行動が、12月19日、国会議員会館前で開かれ、「パレスチナに平和を」「軍拡・武器輸出解禁反対」「パーティー券裏金問題徹底究明」などの声が上がりました。ガザの戦いは市民と人間性そのものに對する戦争だ!

ガザ出身の女性は「10・7以降2万人近い人が殺された。国際社会はただ祈るだけ、誰が止めてくれるのか。全てのパレスチナ人を殺せば終わるか。これはハマスとイスラエルの戦いではない。市民と人間性そのものに對する戦争だ」と悲痛な叫びを上げました。

改憲案起草機関設置を許さず、改憲発議阻止を!

『改憲問題対策法律家6団体連絡会』大江京子弁護士は「憲法審査会で自民党は『緊急事態時の国会議員任期延長等の改憲条文作成のため、起草機関設置』を提案し、公明と維新は『賛成派だけで改憲発議を』と発言している。『起草機関』が設置されれば、改憲

の条文案がつくられる。緊急事態時

の国会議員任期延長は参院に『緊急集会』の規定があるので不要。国民が望まない改憲を許すな」と批判しました。

殺傷武器輸出解禁反対!

「死の商人国家」にするな!

『宗教者ネット』の妙法寺武田隆雄さんは「政府は12月22日に殺傷武器輸出大幅緩和の閣議決定を行う。欧州ではイスラエルへの武器供与反対の行動が起きている。死の商人国家にするな」と訴えました。

